

# 進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第39号

令和6年2月2日（金）発行

## ■2月・3月の予定について

令和5年度も残り2か月になりました。3年生の特編授業は来週までとなり、前女での授業は9日をもってすべて終わりとなります。ここからは家庭学習期間となり、各自で第一志望校に向けての準備を進めることとなります。25日の前期試験を受ける人は、まだ20日以上もあります。「人生でMAXレベルで勉強した」と言えるくらいの追い込みを見せよう。もうプレーキはかけない、もう迷っちゃいけない、〇〇を〇〇（※事情により書けません）まで勉強する、限界まで挑戦してください。



下級生の皆さんは、是非これからの3年生の姿をよく目に焼き付けておいてほしい。家庭学習期間になっても、たくさんの生徒が登校して教室で自習したり、添削指導や面接練習を受けたり、学校という環境を最大限に活用して努力を重ねています。代々受け継がれてきたこの伝統を今度は皆さんたちが引き継いで、来年度以降の受験に臨んでいくのです。

### 3年生の皆さんへ

- ・家庭学習期間に登校して個別指導を受ける生徒は、担当の先生とよく日程の打ち合わせをしておいてください（学校に入れない日をしっかり把握しておいてください）
- ・私大の可否結果については、逐一正確に担任の先生に連絡してください（後でまとめて連絡、ということのないように）。私大の可否については、何方式で合格したのかも含めて正確に伝えてください（同じ学科でも方式ごとで複数の合格をもらっている場合もあります）
- ・とにかく健康に留意して、最後まで頑張りぬいてください！！

## ■学年末考査に向けて～過去最高の自分になれるように～

1・2年生は14日から学年末考査が始まります。今年度最後の定期試験。来年度に向けての決意を「過去最高の成績をたたき出す」ことで体現してほしい。1年間の集大成として、準備段階からこだわりをもって日々過ごして欲しいと思います。期末考査が終わればもう次年度に向けての準備がどんどん進んでいきます。後輩たちも入ってきます。今回の学年末考査への取り組みが、そのまま受験に繋がっていく、という意識をもって試験に臨んでください。

## ■料理上手は勉強上手？

誰が言ったか忘れましたが、カレーをちゃんと作れる（レトルトではない！）人は勉強（数学）ができる、という言葉聞いたこと

## 2月・3月の予定

2月	5	月	
	6	火	
	7	水	
	8	木	
	9	金	3年特編授業終了（家庭学習事前指導）
	10	土	
	11	日	
	12	月	（建国記念の日）
	13	火	3年家庭学習開始
	14	水	学年末考査
	15	木	学年末考査
	16	金	学年末考査
	17	土	
	18	日	
	19	月	学年末考査
	20	火	入学者選抜会場準備
	21	水	入学者選抜（家庭学習）
	22	木	入学者選抜（家庭学習）
	23	金	（天皇誕生日）
	24	土	
	25	日	国公立大前期日程（～26）
	26	月	入学者選抜に伴う家庭学習
	27	火	入学者選抜に伴う家庭学習
	28	水	入学者選抜に伴う家庭学習
	29	木	3年登校日（卒業式準備）
3月	1	金	卒業式
	2	土	スタサポ①全統共通テスト模試②
	3	日	
	4	月	家庭学習
	5	火	
	6	水	
	7	木	
	8	金	国公立大中期日程
	9	土	教科書販売
	10	日	
	11	月	
	12	火	国公立大後期日程
	13	水	
	14	木	
	15	金	合格体験談①②
	16	土	
	17	日	
	18	月	
	19	火	
	20	水	（春分の日）
	21	木	
	22	金	終業式 離任式

があります。例えとしては極端ですが、要するに、カレーをつくるためには、まず必要な食材を調達し、切って下ごしらえをし、量や時間を測って煮込んで味をつけ、最後に味見をする。1つの料理を作るためには、それなりのステップがあり、その段取り（煮込んでからジャガイモを切る人はいないでしょ）をきちんとしないと美味しいものはできないわけで、それは学習への取り組みにも共通する、という意味なのだと思います。

定期考査と違い、入試問題というのは膨大な範囲のなかから出題されますので本番までに、「何を」「どこまで」「どのようにして」身につけていくのがとても重要になります。そしてそんな時に力を発揮するのが「段取り力」といえます。

期末考査が終わるとかなり長い期間の家庭学習があります。この期間をどのような意識をもって過ごすかで、来年度の自分の姿が大きく変わってくるといえます。ただ無計画に過ごすのではなく、今の自分の課題や弱みをきちんと把握し、そのために「今やるべきこと」を明確にする。そしてそれらをどのような優先順序により取り組むか計画を立て実行し、最後に検証する。確実に迫る入試に向けて、この春は「段取り力」を鍛える期間と位置付けてほしいと思います。

写真のお弁当は、先日シェフ M 先生から振舞われたお手製弁当です。これだけの品数を人数分用意して完成させるには、相当にレベルの高い段取り力が要求されると思います（レシピは直接シェフに問い合わせてください）。この家庭学習期間には、段取り力強化キャンペーンの一環として、ご家族の食事を全部つくってあげるとか、家事を全部こなすとか、勉強以外の場面でも段取り力を鍛えることをお勧めします。日頃ご家族の方がいかに段取りを考えながら多くの仕事をこなしているか実感できるはずですが（ただ食べているだけでは段取り力は身につけません）。



## ■先輩からのメッセージ

共通テスト、前女生の皆さんも先生方も大変お疲れさまでした。好成绩であったとのことで私もとても喜ばしいです。2次試験までまだまだ時間があると思うので、私の方からも思い出せる限りですがお話をし、参考にさせて頂ければと思います。

私は実質的に東北大専願だったので、前期試験に向けた勉強を軸にしていました。共通テスト直後に一校だけ私大（学科、面接で計2回）を受験しその対策もしましたが、国公立受験に向けた受験練習と捉えていました。

英語は得意だったので授業以外では、東北 AOⅢ期対策を兼ねて専門的な内容(医系)の長文問題を解くくらいでした。数学は苦手だったので、毎日過去問演習とその復習をじっくりやって思考力が落ちないようにしました。数学に関しては添削等で先生に多大なお力添えをいただき、**記述力**を磨きました。理科については覚えることが多く過去問だけだとムラができると思い、問題集を使って**満遍なく学習**しました。並行して、制限時間が厳しいので過去問も多く解きました。また、記憶維持のため英単語や化学の教科書には毎日軽くでも触れていました。

科目に関わらず、過去問をやる際は、通して解くと膨大な時間がかかるので大問ごとに分けてやるが多かったです。このやり方だと集中力が切れないですし、分野ごとの出題傾向なども分析しやすいです。頻出分野は他より多年度分解く等の工夫もしました。問題演習では正解不正解や解く速さもそうですが、問題から本質を考えたり自分の抜けを潰したりすることに注力しました。

この時期は不安になりがちでしたが、過去の自分の頑張りを糧にしていました。例えば3年間勉強で消費してきたノートやコピー用紙を部屋の隅に積んでいたのですが、それが大きな自信になりました。あとは、大学に入ってから勉強面で挫折を感じるが増えたのですが、受験期に意志を固く持って勉強した経験が今生きているので、受験結果だけにとらわれず先を見て頑張る強さも大事だと思います。

もっと早くご連絡したかったのですが遅くなってしまい申し訳ないです。ラストスパート頑張ってください。

東北大学医学部医学科1年 Kさん